

令和5年度 第2回 旭川市環境審議会 会議録

日 時	令和5年10月31日（火） 午前10時～午前11時30分	
場 所	旭川市職員会館（旭川市9条通9丁目）	
出席者	委 員	11名（敬称略：順不同） 青木委員，上田委員，奥寺委員，篠原委員，多々納委員，藤倉委員，本田委員，宮越委員，山田（敦）委員，山田（智）委員，渡邊委員
	事務局 （市側）	17名 環境部（富岡部長，松野郷次長，稲田次長，小池次長） 環境総務課（安富担当課長，佐藤主幹，増田主査） 環境総務課環境総務係（坂田主査，浅沼主査，笠原） 廃棄物処理課（尾藤課長） 廃棄物処理課近文清掃工場（菅原工場長） 廃棄物処理課廃棄物処分場（齋藤所長） 環境指導課（沖村課長，佐藤補佐） 環境指導課廃棄物指導係（細川係長） クリーンセンター（大竹所長）
会議の公開・ 非公開の別	公開	
傍聴者	1名	
議 事	<p>（1）審議事項</p> <p style="padding-left: 2em;">ア 旭川市環境基本計画【第2次計画・改訂版】（第3版）素案について</p> <p style="padding-left: 2em;">イ 旭川市地球温暖化対策実行計画（区域施策編・第2版）素案について</p> <p>（2）その他</p>	

<p style="text-align: center;">会議資料</p>	<p><配付資料></p> <p>資料1-1 旭川市環境基本計画【第2次計画・改訂版】の中間見直し（2回目）について</p> <p>資料1-2 旭川市環境基本計画【第2次計画・改訂版】（第3版）（素案）</p> <p>資料1-3 環境基本計画【第2次計画・改訂版】（第3版）素案・新旧対照表</p> <p>資料2-1 旭川市地球温暖化対策実行計画（区域施策編・第2版）（素案）について</p> <p>資料2-2 旭川市地球温暖化対策実行計画（区域施策編・第2版）（素案）の概要</p> <p>資料2-3 旭川市地球温暖化対策実行計画（区域施策編・第2版）（素案）</p>	
<p style="text-align: center;">議事内容等</p>	<p style="text-align: center;">発言者</p>	<p style="text-align: center;">発言の要旨</p>
<p>1 開会</p>	<p>事務局</p>	<p>委員4名が欠席の旨を報告。</p>
<p>2 議事</p> <p>(1)審議事項</p> <p>ア 旭川市環境基本計画【第2次計画・改訂版】（第3版）素案について</p>	<p>会長</p> <p>事務局</p> <p>会長</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p>	<p>議事(1)審議事項ア 旭川市環境基本計画【第2次計画・改訂版】（第3版）素案について事務局から説明願う。</p> <p>（資料1-1により説明）</p> <p>今の説明などに対して、質問等はあるか。</p> <p>循環型社会の形成について、リサイクル率の目標値が現行より下がった理由は何か。</p> <p>現行の計画ではリサイクル率27%を目標値としているが、新しいものでは25%とし、2ポイント下がっている。</p> <p>清掃工場を建て替え、粗大ごみ等の破碎選別施設を導入し、金属のリサイクルを進める計画であった。</p> <p>しかしながら、資材価格の高騰等によって計画を見直した結果、現工場の設備を改修して再延命化することにしたため、リサイクルが見込まれる量の減少が要因の一つである。</p> <p>また、ほかの要因として、廃品回収の量が前回見直し時に見込んだよりも減少していることがあげられる。コロナ禍で、町内会活動が沈滞したこともあると思うが、新聞を中心に再生資源の回収量が減少している状況で、この傾向は今後も続くと思料している。</p> <p>現在、リサイクルプラザを建て替えているが、リサイクル率に影響はあるのか。</p>

	事務局	<p>リサイクルプラザは、旧西清掃事業所を改修した施設で、リサイクル専用施設として整備されていないので、機能的に不便な面もあり、老朽化も著しいため、建て替えることになった。</p> <p>新しい施設では、作業がしやすく、リサイクルに回せる缶・びんの量が若干増えるかもしれないが、リサイクル率に大きな影響はないと考えている。</p>
	委員	<p>大きな施設をつくるので、有効に使ったら良いと思う。</p>
	会長	<p>新しい施設を有効に活用する視点は大切である。できるだけリサイクル率に還元されるように考えていただきたい。</p>
	会長	<p>全国的にクマの問題が多くなっている。</p> <p>市では、ヒグマの情報発信はどのように行っているのか。</p> <p>また、市の現状について伺う。</p>
	事務局	<p>ヒグマが出没した際は、迅速に注意を呼びかけ、正確な情報を伝えることが重要と考えている。</p> <p>出没した地域の町内会には、速やかに FAX や電話で注意喚起を行い、状況に応じて注意看板を立てている。</p> <p>また、ヒグマの出没場所が地図上で分かるように、「ひぐまっぷ」という情報発信ツールを使い、誰もが HP やスマホで確認できるようにしている。</p> <p>このほか、今年から「あさひかわ 暮らしのアプリ」を活用し、スマートフォンのプッシュ通知機能によって、ヒグマの出没情報を伝えているところである。</p> <p>続いて、今年度のヒグマ出没状況について、現在の出没件数は74件となっている。</p> <p>5月から6月にわたり、東旭川地域を中心に出没が相次ぎ、電気柵の設置や草刈りを行うなど、侵入や定着の抑制対策に努めてきた。</p> <p>こうした取組を行った結果、東旭川地域におけるヒグマの出没は減ってきたが、最近、神居古潭地区でヒグマによる農作物の食害が続いたことから、問題個体と判断し、箱わなで捕獲・駆除したところである。</p> <p>まだ気温も暖かく、ヒグマも食べ物を探して活発に活動していると思うので、警戒を続けていきたい。</p>
	会長	<p>市ではヒグマの個体数を制限するような取組は行っているか。</p>

	事務局	<p>まず、ヒグマは行政界に関係なく移動するため、市域で個体数を把握することは難しいことを理解願いたい。</p> <p>ヒグマの保護・管理の考え方については、都道府県が所管しており、北海道では「北海道ヒグマ管理計画」の中で、全道のヒグマの数を約 11,700 頭と推計している。</p> <p>これは 30 年前に比べ、約 2 倍の頭数となっている。</p> <p>近年、市街地にヒグマが出没することも多くなっているため、全道的にその対応に苦慮している。今後、北海道が個体数管理の方針を持てば、それに沿った形で本市も取り組むことになる。</p>
	委員	<p>AI の活用により、同じ場所でヒグマが何頭も出没したと考えられていたのが、実は 1 頭であったという事例を聞いたが、市では行っているのか。</p>
	事務局	<p>その情報は、DNA 鑑定で個体識別を行った事例だと思われる。</p> <p>DNA 鑑定を行うために、ヘアトラップ調査を行っている。</p> <p>ヘアトラップ調査は、山の中に有刺鉄線を巻いた木材を設置し、体を擦りつたヒグマの体毛を採取する調査手法である。</p> <p>市では、今年度から始めた調査で、どこで活動しているか、親子グマなのかなど、ヒグマの生息状況を把握し、効果的な対策につなげていきたいと考えている。</p> <p>なお、AI の活用については、ヒグマ、あるいは動物のみの画像を抽出することができれば、画像の確認枚数も減り、監視精度の向上と作業負担の軽減に寄与するので、調査研究していきたい。</p>
	委員	<p>素晴らしい取組なので、この報告があっても良かったのではないかと。先程、情報発信の話もあったので、PR したら良いのにと考えた。</p>
	事務局	<p>今回は、環境基本計画の改訂を議題としているので、この議論をお願いしたいと考えた。</p> <p>今後、市街地侵入抑制などの対策についての情報発信や、ヒグマの生態等を学ぶセミナー開催等の普及啓発に努めていきたい。</p>
	会長	<p>鹿やアライグマも増えて、被害が出ていると聞かすが、どのような状況か。</p>
	事務局	<p>エゾシカについては、農業被害を防ぐため、農政部で駆除等を行っている。</p> <p>特定外来生物のアライグマについては、足跡などの痕跡があった場合、環境部又は農政部に連絡していただいたら、捕獲用の箱わなを貸し出し、現場に設置している。</p>

	事務局	<p>なお、捕獲されたアライグマは、全て環境部で回収し駆除している。年間 500 頭ほど捕獲しているが、近年、増加傾向にある。</p> <p>今後、さらに生息域を拡大させないように防除に努めていきたいと考えている。</p>
	委員	<p>新聞等で報道されていたと思うが、新しいリサイクルプラザはいつ完成し、いつから稼働するのか。</p>
	事務局	<p>東旭川町下兵村にある環境センターの隣に建設中で、供用開始は令和 7 年の秋を予定している。</p> <p>多くの小学生が社会見学で訪れ、リサイクルを学び家庭で広く実践してもらえるよう、環境教育に取り組める施設にしていきたい。</p>
	会長	<p>他に委員から意見はないか。</p>
	委員	<p>(発言なし)</p>
	会長	<p>これまで発言された意見を踏まえて、今後の作業を進めてもらうことで、審議会として了承してよろしいか。</p>
	委員	<p>(委員了承)</p>
<p>(1)審議事項 イ 旭川市地球温暖化対策実行計画（区域施策編・第 2 版）素案について</p>	<p>会長</p> <p>事務局</p> <p>会長</p> <p>委員</p>	<p>議事(1)審議事項イ「旭川市地球温暖化対策実行計画（区域施策編・第 2 版）素案について」事務局より説明願う。</p> <p>(資料 2-1～2-3 により説明)</p> <p>今の説明対して、質問等はあるか。</p> <p>現状考えると目標達成はかなり厳しいのではないか。</p> <p>自動車はガソリン車が多く、電気自動車にするととなると、行政から、多額の補助金をかけて普及促進しないといけない。</p> <p>移動に伴って排出される二酸化炭素は減らないのではないか。</p> <p>また、自動車は 1 人か 2 人しか乗っていないことが多い。</p> <p>カーシェアリングなどで減らす努力をしないとけない。</p> <p>次に、旭川市だけではなく、冬は暖房に灯油を使う。</p> <p>エコキュートなどの普及率はどのくらいか。森林の吸収量だけでは、足りないのではないか。</p> <p>続いて、資料 2-1 の 17 ページの中で、革新的技術の導入、新エネルギーへの転換と記載されている。</p>

	事務局	<p>新エネルギーでは、合成燃料といったものがあり、二酸化炭素から直接燃料を作ることに取り組んでいる。</p> <p>あと、燃料電池自動車の全固体電池なども、計画に入れておいた方が良いのではないかと。</p> <p>全体固体電池は充電速度が今までの10分の1と言われており、リチウムイオン電池の何倍も電気を溜められる大容量の電池なので、旭川市で使っていくなどの施策が必要ではないかと。</p> <p>交通に関しては、誰もが電気自動車を購入してほしいという話ではなく、委員からお話があった、全固体電池なども含めて、技術開発を待つということになる。</p> <p>技術開発は、これからも進められていくので、こうした動きに対応しながら、我々の生活を変えていくということになる。</p> <p>目標値の達成に関する部分だが、現在、電気を作るときに排出される二酸化炭素のうち、石炭を燃やしていることによる部分が多くを占める。</p> <p>原発に賛成する、しないということではなく、原発が再稼働した場合は、二酸化炭素の排出量が低く算出され、目標値の半分くらいが達成される。特に、電気の排出係数の影響は大きい。</p> <p>また、冬期の暖房に係る灯油・ガスの影響は北海道ならはだが、これを無くすことは難しい。</p> <p>エコキュートやエコジョーズなどの省エネ機器を上手く使って、使うエネルギーを減らしていこうというのが、2030年の目標に向けた取組となってくる。これらの設備の普及率は把握していないが、古い設備から省エネ効率が高い設備への、買い換えを促進していきたい。</p>
	会長	他に意見等はあるか。
	委員	先程、説明の中であったが、地球が温暖化して、上がってしまった気温は下げることはできないのか。
	事務局	既に上がった気温は下げることはできない。
	委員	<p>切実な問題だ。我々ができるエネルギー関係で考えると、自動車だと思う。電気自動車は省エネになるし、燃料が安くすむと思ったが、充電する場所がない。充電できる設備の普及が必要ではないか。</p> <p>あと、「5つのRとか」、用語の意味がわからないものが多い。わかるように記載してもらえたらと思う。</p>
	事務局	電気自動車の充電インフラについて、経済産業省では、現在15万

		<p>台あるスタンドを倍増させると言っている。こうした流れに乗っていくということが大事だと思う。</p> <p>充電に関して、家庭のコンセント充電できるものはあるが、時間が掛かるため、電圧を上げるなどの工事が必要。</p> <p>10万円程の工事費が掛かってしまうが、電気代とガソリン代を比較すると、電気は半分ぐらいで済むと言われており、コストメリットはあると思う。</p> <p>国から、電気自動車の普及と充電インフラ整備を同時に進めていくとの方針が示されており、この方針に基づいて進めていきたいと考えている。</p> <p>続いて、計画に出てくる言葉が難しいということで、本編には解説を入れているが、御指摘を踏まえて対応したいと思う。</p>
委員		<p>先日、私は電気自動車を導入した。</p> <p>軽の電気自動車なので、インフラ整備よりも家庭向けの充電設備工事に力を入れてもらいたいと思った。何故かというと、充電スタンドで充電すると値段が高い。</p> <p>家庭用の電源で充電するとコストが半分ではなく、3分の1程になった。外で充電するとガソリンと金額が変わらなくなってしまう。</p> <p>電気自動車は、長距離乗るものと考えていない。小型の軽の電気自動車かバッテリーが取り替えられるものなどが良いと思う。</p> <p>国では充電インフラの整備と言っているが、旭川、北海道といった地域性を考慮することが大事ではないか。</p> <p>あと、計画の用語に関しては、用語集を付けた方がいいのではないか。</p>
事務局		<p>委員の御意見のとおり、冬場は電気自動車だと半分くらいしか走らないなど、色々な課題があるので、北海道等と連携して取り組みたいと思う。</p> <p>用語集に関しては、本編で、用語集という形ではないが、それぞれの単語の下に注釈を付けており、この内容を充実させたいと思う。</p>
会長		<p>計画に注釈は書いてあるが、昨今、難しい言葉も増えてきているので用語集があると良いと思う。</p> <p>先程、委員が電気自動車を購入したとの話があったが、市では導入しないのか。</p>
事務局		<p>電気自動車の導入については、現在、予算要求を行っている状況である。</p> <p>計画の用語については、用語集といった形で整理するのが良いのか、難しい単語の下に注釈を付けるのが良いのか検討したい。</p>

	委員	先程から排出抑制の話は出ているが、森林や緑化についてはどう考えているのか。
	事務局	森林や緑化については、農政部や土木部が対応しているところでもあるので、連携しながら施策を進めるいくという整理を行っている。
	会長	他に意見等はあるか。
	委員	(発言なし)
	会長	これまで発言された意見を踏まえて、今後の作業を進めてもらうことで、審議会として了承してよろしいか。
	委員	委員了承
(3)その他	会長	事務局から何かあるか。
	事務局	なし。
3 閉会	会長	予定していた議事は以上。以降の進行は事務局に交代する。
	事務局	以上で、本日の審議会を終了する。